

かみこうち

いしどり やちよう

とうほくほんせん

上好地遺跡は花巻市石鳥谷町好地にあり、JR 東北本線

ひようこう

石鳥谷駅の北東約 3.1km に位置しています。標高は約

96m で、北上川西岸の中位段丘面上に立地しています。

きたかみがわせいがん ちゆういだんきゆうめん りつち

ほんいせき

けんせつ さきだ はくつちようさ

本遺跡は平成 13 年に工場の建設に先立ち発掘調査が

じようもんじだいこうきこうよう

行われました。その結果、縄文時代後期後葉（約 3,500

～ 3,000 年前）の竪穴住居跡 1 棟と縄文時代の陥し穴が

たてあなじゅうきよあと とう おとあな

17 基見つかかり、縄文土器や石器が出土しました。また、

平安時代（約 1200 ～ 1100 年前）の竪穴住居跡 6 棟と土

師器や須恵器などの遺物が見つかかりました。調査区内か

らは、他にも縄文時代前期・晩期・弥生時代の土器片も

ぜんき ばんき やよい

見つかっているため、この時代にも何らかの生活が営ま

いとな

れていたことは間違いありません。

かば

このように本遺跡は、縄文時代には主に狩り場として

利用され、平安時代になると生活の場となるなど、長き

に渡って利用さ

れていたと思わ

れます。



空撮写真 (2001 年調査) ※画像奥が犬漕工業団地